WOMANS HERALD

婦人新報

第百卅二號

明治[illegible]認可
明治四十[illegible]月廿五日發行
毎月一回二十五日發行

145

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百廿三號

目次

過去二十年史　矢島會頭
悲慘の極
時事數件
串田老姉の感話
故大澤つや子姉の傳
各支部動物優待課々長に望む　武田淑子
三十九年度教育課報告　渡邊常子
婦人矯風會記事
大會記事（第一）大阪、旭川、平、盛岡、廣島、弘前、
函館、堺、羅府、
大會接待費決算報告
廣告

No. 123.　JULY 1907.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS

Twenty years in past.　Mrs. Yajima.
One of the most sorrowful events.
Current events.
The hints by Mrs. Kushida.
The brief biography of the late Mrs. Ōsawa.
To the Local Supts of the Mercy Dept.
Annual Report of the Scientific Tem. Dept.

W. C. T. U. NEWS.

The record of the last Nat. Convention.
Osaka, Asahigawa, Taira, Morioka, Hiroshima, Hirosaki, Hakodate, Sakai, Los Angels.
The report of the treasurer of the Convention.

ADVERTISEMENT.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 6, Horaicho, Hongo, Tokyo.
70sen per Annum.　Single Copy 6sen.

社告

◉婦人新報定價（郵税共）

一部（前金）　金六錢
六部（前金）　金三十五錢
十二部（前金）　金七十錢
（郵券代用一割增）

◉廣告料

一行（五號活字）　金十錢

明治四十年七月廿四日印刷
明治四十年七月廿五日發行
發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　小崎チヨ
發行所　東京府豐多摩郡澁谷村元青山南町七丁目一番地　婦人新報社
編輯及事務所　本郷駒込蓬萊町六番地

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百二十三號

（明治四十年七月廿五日）

過去二十年史（會頭演說）

明治十九年十二月六日土曜日午後二時東京市日本橋兩替町日本基督教會堂に於て東京婦人矯風會發會式を催す是より先十一月發起者諸氏は同會組織の爲め百方準備せられました

發起者氏名は、佐々城豊壽子、大義見米子、三浦りう子、加藤とし子、海老名みや子、矢島揖子で御坐いましして諸姉は一ヶ年三十六錢の會費を出し之を以て規約書規則書主意書等の印刷の費用に充て其他通信の爲に費やしました、右の發會式に辯士として臨席せられたるは田村直臣氏と海老名彈正氏で其演題は婦人の責任云々で御座いまして當日會費を募集いたしました處入會されし方々總て五十名餘つて役員の撰擧いたしました其結果は

會頭矢島揖子、記錄書記佐々木豊壽子、通信書記服部千代子、會計海老名みや子、本多かう子

後特別會員の必要あるを認め佐々城書記は切に有力の男子に入會を勸むる事に力められました毎日新聞の記者たりし中川永輝氏は書記を助けて米國本部に本會創立の報をなし當時在米中なりし根本正氏の手を經て其一支部たる事を得るやうになりまして二十年三月ウヰーラード會頭の寫眞を受け而して當會々頭幷に書記の寫眞を米國本部に送りました其後毎年二回總會を開きまして二十年六月の末には二百名の會員を有する立派なる團體になりました、當時運動の方法は矯風會の主意書勸告書の小冊子數千部を印刷し序を以て諸方に配附しました、また一方には數々大演說會を厚生館或は東西に散在せる會堂に催して主義の擴張に力めましたが其結果仝年十二月には十七名の新入會員を得まして遂に事務所設立の議を總會に於て可決し其基本金募集に盡力し現金四百三十七圓八十七錢五厘を得豫約金は之に倍して居りました

翌二十一年三月基督教新聞に於て布哇ホノルヽに禁酒大運動に付て逸事ありたる事を聞きましたから直ちに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

書記は筆を執つて安藤領事に國家の爲め祝辭を記して郵送いたしました、當春世界平和の根本たる禁酒の請願書に記名捺印して内務省に提しました此年金五十圓をウヰーラード館建築費の費用として本部に送る本年の末に至り總會員二百六十九名に增加し既往に於ては全盛を極めし秋てありました

廿二年二月十一日は憲法を發布せられし尤も記憶すべき日て御座いますが矯風會におきましても時機失ふ可からずとなし會員は各々手を分け諸國より上京する重なる人々に規則書主意書勸告書等を送り、また訪問します一方には大演說會を開き好果は尠くはありませんてした、此年ホノルヽより安藤領事歸朝直に日本橋區三河屋に歡迎會を開き安藤氏夫妻は席上に於て矯風會々員たる事を約されました

亞てアッケルマン女史來朝市中に於て盛に禁酒演說會を開かれました、會頭病氣にて引籠り居りました間淺井作子荻野ぎん子等交々會頭になられましたが時勢の然らしめし爲めか或は他に理由があつた爲めか會員が餘程減少いたしまして百四十人程になりました。

二十三年東京禁酒會の創立されまして秋九月濃尾大震災に際して會員の兩三名該地に出張いたし救護の爲めに勤めましたので賞を受けました、此年佐々城書記の發起にて機關雜誌を發行いたしました翌年同姉北海道に轉ぜられしを以て竹尾こと子姉が雜誌記者になられました其後竹越竹代子山路種子田中米子小崎千代子諸姉の手を經て今日は横倉秀子の手に移つて參りました、二十三年十月ウエスト孃大運動の末金澤に於て長逝せられました私共は追悼の念に堪えませんてしたが同孃の死は實に眠れる私共には大なる警鐘てありました廿六年春故ウエスト女史の意志に基き日本キリスト教婦人矯風會の本部に設立いたしました同年十二月大會を開き可憐なる婦女子救護の必要に迫り慈愛館を設立する事を議決いたしました翌年春大久保中百人町に約金二千圓を以て地所幷に建物を買入れました廿七八年の日清戰役の際は遺族を慰問する事に多忙を極めました

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

廿九年九月パッシュ女史には東京なる大隈伯邸内に於て盛に歡迎を受け爾來三年間禁酒會と提携いたしまして卅一年十月首尾よく目的の事業を成効せられましてあふるゝ感謝を負ふて歸米せられました同女史の熱心なる運動により多數の支部を得る樣になりました

本部の組織がなりましてから毎年米國本部に義務金を納めて居りましたが僅かに五圓六圓で御座いましたそれがパッシュ女史の盛なる運動の結果として支部が澤山に設けられ從つて會費も增加しましたゝめ義務金を三十圓納附いたすやうになりましたので遂て本部から賞旗を受くるやうになりました而して三十四年英國に開催せられたる大會に右賞旗を返納いたしました

三十六年十月スコート孃來朝ガンドレット夫人の通譯を以て各地を巡歷し至る處に支部を設けまた課の働の必要を說かれました結果支部の數七十に上りましたのみでなく集會の狀態も整頓して實に代議政躰の樣になりました同女史の働はまた偉大でありましたが悲しい事には三十九年五月病を得て歸國せられました

三十九年七月第十四回の大會を終へ私は(矢島會頭)に第八回萬國婦人矯風會大會に出席の爲め渡米し任務を果して十二月十八日歸朝いたしました留守中本部役員課長の大なる運動と及各支部會員方の有給書記の必要に同情せられて毎月送金せられし此の進步發達の方法によりて會の益々發展せしを知りました現今の會員は二千五百餘名で御座います代員諸姉よ今後益々斯業の爲めに奮闘いたしませう

悲慘の極

明治の聖代に於て斯樣な悲慘なる事があらうとは誰か夢みませう志を立てゝ異境に學ぶ有望の青年はた一家の繁榮を計らん爲めに他境に旅立つ希望に滿てる人々さへ其故山を出でんとする時には數滴の涙を惜しみません人間到る處青山ありと謳歌して天涯に移住するの人も其墳墓の地を離れんといたす時には一種寂寞の情に胸鎖さると云ふためしさへ澤山あります況して先祖より傳へられたる田畠の半は鑛毒の爲めに不毛とな

り殘れる僅かの地を耕して漸く糊口を凌ぎつゝも此土を吾が死に處と覺悟して種々の困苦を耐えつゝ今日まで送り來りし其墳墓の地を法律の命によりて立ちのかなければならぬ今日の境遇を恨み悲しむは理の當然で御座います谷中村對縣廳の曲直はさて置きまして苟も情ある人は法律の執行によりて住み居る家屋を眼前に破壞され眠るに家なく飢を凌ぐに充分の食なく憤怒と愁嘆に滿ちて野に宿し小兒等の群がる蚊軍に妨げられ寢に就くとが出來ず彼處に此處に悲鳴を擧げて居るのを見ましては誰れか此の無辜の農民の爲めに涙を流さないものは御座いませう谷中の地に行きて官民の有樣を見ますならば代官時代の樣な心地がいたすと某老人が語られました自分は未だ時を得ずして谷中の村民を訪れませんまた其事情にも精通いたして居りませんが唯だ自分の知り居る範圍から申せば人民の生命財產を保護する法律は或る場合に於て民の平和を攪亂するものであるかの樣に思はれます吾等は炎天に晒らされ其悲運を嘆き居る憐れむべき村民の爲めに同情の涙を灑ぎまた適當なる方法のもとに彼等に幾分の慰安を與へたいもので御座います

汝等神の國と其正義とを求めよ

時事

△旭川遊廓問題は未だ落着がつきませんが同地の警察署長が福岡に轉ぜられしと申します此の如き問題の可否は誰れにも分る事で内務省が斷然遊廓設置を否定されるが私共には理解しがたいので御座います群馬縣下の遊廓再設問題は下火となりましたが平町に於ては未だ滿足なる解決を得ません今後私共は斯樣なる問題の爲めに心を痛めない樣な時の來る事を信じて互に奮鬪するつもりで御座います

△孝心深き子供の至誠が親父の賭博を中止めさしたと云ふ美談を聞きまして至誠のある處には常に勝利のある事を愈々覺りました

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

串田老姉の御感話

「汝らは今日心をあらためて各々其隣人に釋放の事を示すべし」是は舊約聖書耶利米亞記の第三十四章第十五節の内のお詞でございますが夫意味は汝等自ら奴隷を解放つ證人となりて人々に奴隷の境遇からゆるされた人等の幸福を眼の前に見せて自由と云ふ尊きものにふれさせて自由を慕ひ求むる心を起させよとの事で御座います、私共同胞兄弟姉妹の有様を見ますとまことに淺ましい情ない事柄ばかり多くあります、或人は酒の奴隷となりて家産を破り一家離散の悲境に沈み、或人は色の奴隷となりて家内の風破たへまなく社會に對しては其風俗を害し其身をそこなひ或は迷信の奴隷となり遂には己が精神にまで異常を起しますなどかぞへたてましたらかぎりがないのであります其中でも近頃社會の問題になつて居ります公娼や賣婬婦の事など誠に幾萬の私共の同性が金力や暴力のために夫の節操を賣られ生きながらの焦熱地獄に陷つて居ります事を考へますと誠に現今の社會の不完全極まるを歎息致さざるを得ないと同時に又如何にか致しまして是等の人々を歡喜の生涯にかへしたいものだと云ふ心が起るのは至當の事でございます殊に私などは皆樣におくらべ申してはまづまづ世の中の經驗も多い方で御座いますからこれまでも色々の苦き經驗も尠くございませんので夫度毎に微力ながら力の及ぶ限り世のため人のために何事なりつくさうと思ふてをる仕第でありましてまたこの心が私のやうな老人が矯風會員として皆樣の末席を汚してをる仕第でございます、それで皆樣も御承知の通り昨年矢島會頭の御渡米によりて世界の矯風會員否世界の人々が日本の矯風會の働きを待ち設けてゐる事と考へますから皆々樣もどうかこれからは世界の舞臺における日本矯風會員の責任と云ふ事を御自覺遊ばして我矯風會の主義をおしひろめてまづ我が日の本の國に眞正の意味の自由を與へることに力を盡し度いものでございます、私共の戰場はいたるところにあることゝ思ひますがまづ手近い所より始めてゆくの

が至當の順序と考へますどうか矯風會員たらむものは自分を修め己が家庭を淸めて夫後に社會を改良すると云ふ堅固なる御決心を御持ち下さる事を願ひます社會に御出になつては立派なる事業をなさる方も其家庭の治まらぬやうの事がございましては僞善と罵られても詮方も御座いません、此等の事は私等信者として殊には矯風會員として持たねばならぬ責任で有り取分けキリスト樣が私共を世の光地の鹽と仰せられました其御詞に對しても私共は充分に責任をもちて活働すべきことゝ考へます（文責記者にあり）

悲痛に充ちて過去を追懐する勿れ須く現在を良用せよ

故大澤艶子姉の畧歴

故大澤艶子姉は故福井縣士族宮川重雄氏の第三女にして明治四年十一月二十四日を以て東京牛込區矢來町舊若狹藩主酒井伯の邸內に生る、幼にして父を喪ひ母君ひとりの慈愛の下に敎養を享け後育てられ築地新榮女學校に入學し同校委員ミス、ヤングメンの懇篤なる薰陶を受けつゝ明治二十二年其業を卒へ給ひぬ

翌明治二十三年築地新榮敎會に於て牧師石原保太郎氏より洗禮を受け、後ち故ありて芝敎會に轉會し給ふ

明治二十五年大澤榮三氏に嫁し、五男、三女を擧げ給ひしが內二男一女は不幸にして夭殁し現存せる三男二女、十六歲を長とし五歲を季とし何れも幼稚なり艶子姉人と爲り溫良貞淑にして能く家政を整理し、子女の敎育に只管心を用ひ頗る堅忍の性質に富みぬ、身體亦健かにして婚嫁以來拾六年未だ曾て著るしき二豎に犯され給ひしこと無かりしが、明治三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十九年三月偶ま「急性感冒」に冒かされ餘病併發を來し給ひ爾來諸名醫の治療を受けられ其九月には駿河臺なる高田病院に入り、四十年一月茅ケ崎南湖院に轉ぜしも院長の懇切なる治療亦夫効を奏せず、四月下旬一旦自宅に歸り靜養す、超て六月二日に至り病勢漸次重きを加え來る、艶子姉は發病後と雖も聖書の日課を怠りしことなく絶えず神に祈り、正しきもの丶祈は力あることを固く信じ、又た我は幼なき者のために猶此世に於ける責任あり、我は死すべからず、との希望と勇氣とを以て病と奮闘せられしもの丶如し、然るに六月十五日に至り呼吸益々困難を覺え給ふに及び遂に自ら復た起つ能はざるを知り給ひ、良人愛兒親戚を枕邊に招ぎ告げ給ふて云く、發病以來一年有餘遺憾なき療養を受けしも天壽定まりあり如何ともしがたし、今はただ神の御心に任せまつるのみとて、座に在る者に請ひて祈禱を捧げ讃美歌をうたひ、聖書を讀ましめ、自から幼兒等のために天父の祝福を祈り、良人及び愛兒等には天國に於て再會を約し、堅き信仰と限りなき榮光を認め聖靈の惠みに浴しつ丶心靜かに永き眠に就きしは十六日午前一時なりき、斯くて遺骸は十八日青山なる立山共同墓地に葬れり、

以上は故大澤艶子姉の畧歷なり、死生もと命あり人力の如何ともすべからぬは萬人の等しく識る所也、されども尚未だ春秋に富むうらわかき御身をもちて殊には愛する御良人や東西もまだ辨へぬみどり子等をのこし給ひて獨り此世を去り給ひし愛姉の心の中をおしはかりまつりて誰か一掬の涙を惜むものあらんや、姉はもと溫厚玉の如き人、才氣を衒はず責務を遂行するに忠實に眞に矯風會員として人の儀表たるに價するの人也今や此良會員を失ふ妹等追慕の情にたへず謹みて玆に蕪辭を呈し天父の恩寵長へに愛姉の御遺族の上にあらむ事を切望す。

死は新らしき生命に入るの階段なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

各支部動物優待課長に望む

動物優待課　武田淑

私の如き無能成すなきものをして、榮譽ある本部課長の方々の名簿の端に御加へ下さいました事は、實に身にあまる仕合せて御座いますが、偖て其働きと致しまして、こゝ三年の間、何を爲したかと御尋ねに預りますれば、私は誠にお恥しながら、之れと申して述べる事も數ふる事も出來ないので御座います、併し其間一日として、私の頭腦より、動物に對する慈悲の觀念は離るゝ事は御座いません、否な恰も猫が鼠を狙ふ時の眼を以て、唯だ默して其好機のみ伺ふて、息を凝らして待つて居りまして、事に觸れ物に應じて微かに動いて居りましたが、時世は大に變つて參りまして、動物虐待防止と云ふ聲が段々高まつて參りました。其著しき現象の一として、當神戸市に於きましても、今年の始めつかた、此主旨の會が新たに設立されました、其會長には服部知事が推されました。所が朝日新聞の雜報欄に或人が投書致しまして、同會に向つて建議を致しました。其中の一二ヶ條を申上げますれば、

「狂犬は多くは繋いて計りあつて、運動不足の爲め起るものてある。又犬の濫殺を禁ずる事は、各戸の盜難を防ぎ、隨つて警察事故を減ぜしめ、社會の安寧を保つ上に尠からぬ効力あると同時に、動物虐待防止の目的を達する事になるのである。

英國婦人の告訴に由つて、怪我せる馬に重荷を曳かせた馬子を相生橋署が罰した事があつた。又內村警察長は犬をして車の先曳をなさしむる事を慘酷なりとして禁止を命じた事もある」

云々と掲げてありました。社會の人々も大分動物に對する慈悲てふ事に注意する樣になつて來ましたやうに思はれます。なほ數日前の事で御座いますが、山手の方て或人夫が、積量定數以上の重き石材を載せたる荷車を馬に曳かせ、馬を汗みどろに苦腦せしめて、而かも之を慘酷にも打ちなぐり居ました爲めに、巡廻の警邏に詰問され、其重量を取り卸ろさせられたる上に、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なほ相當の罰金を科せられましたと云ふ事であります。かゝる次第にて當市にては知事、市長をはじめ、警察本部より其邊の周到綿密なる命令の布施せらるゝに至りました事は、時勢の進歩とでも申しませうか、何分感謝すべきことゝて御座います。併し之は先づ第一歩を踏み出したので御座いますが、私共は虐待防止ではまだ〳〵滿足は出來ません、なほ一歩進んで之れに慈悲を現はしたいのが最大理想なので御座います。皆さん方も慥に御同感であらせらるゝ事と確信致して居ります。私共は到底手を下す事は出來ないと思ふ程の困難の事業にても、最と些細なる成効すら覺束ないと思ふ事業にても、若し神に求むるの熱誠と常に弛まざる忍耐とを失はざる限りは、早晩必らず其實行を奏するの日あるを信じて、聊か自ら慰めて居る次第で御座います。私は我日本國中の各府縣とも、當神戸市にて其實行を始め居る樣に各地の知事、警部長、市長、町長等有士の方々が、卒先者となつて、動物虐待防止の運動を始めて、戴きたいものと、希望して止みません。どふか各支部に於て、本課の爲め勞を御取り下さいます方々も、たとひ、一時其結果を目前に御覽なさる事は出來なくとも、御失望なく、愈々一層の御奮勵をお願ひ致したいのが私の切なる希望で御座います。

三十九年度教育課報告

課長　渡邊常

昨年七月開催せられたる大會の砌小妹は在名古屋大島織兄姉と共に本會教育課當事者の任を負ふこととなりたるに就ては兩人協議の上差當り國民教育の鍵鑰を握り興國の根本事業に與りながら比較的世の尊重を酬いられざる小學教員諸氏慰勞の擧を思立ち同十一月書面を以て各矯風會支部に贊同の議を照會したる所當時其主唱に應じ慰勞會を開かれたるもの又は其主旨に基き教育家を歷訪して其勞を謝し且書籍を贈呈せられたるものは名古屋、神戸及び下の關にして其概況を略言せば名古屋に於ては大島姉率先して禁酒會及び矯風會の有志者と共に同市内に於て卅六の小學校を歷訪し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て毎校に「角笛」を寄贈し併せて本會の主義を宣べられ。神戸基督教婦人矯風會にては市内各小學校男女教師を湊川小學校に招待して慰勞會を開かれ席上京都同志社々長原田助氏の印度視察談あり其他ブカナン夫人の洋琴獨奏及獨唱等あり來會者一同の滿悦を齎ち得たる由にて同校長が我等の爲めに斯る鄭重なる會合を催ふされたることは嘗てなかりしと云はれたるに徴しても其大概を察するに餘りあり。下關婦人矯風會にては同地城山倶樂部に於て同一の會合を催ふされ市川中佐の旅順攻圍談の外各種の演奏等あり頗る盛會なりし趣にて同地の新聞紙は啻に同會が時勢に適合したる會合なりしのみならず其方法の如きも他の婦人會に超越して彼等の企及し難き雅趣を有したりと賞讃したりと

尚過去一ヶ年間に於て小妹の執行したる事務一般を概述せば大略左の如し

一發送せし書翰の數　七十通
一婦人新報に寄書せし數　二度
一訪問せし小學校長　二人
一印刷物配布　大凡百枚
一受信數　十五通
一教育課の働きに關し交渉を受けたる支部　三ヶ所

矯風會通信

第十五回婦人矯風會大會記事

明治四十年七月十日午前九時より女子學院ワシントンホールに於て祈禱會施行

大阪支部長林姉司會の任を取らる讃美及び聖書の朗讀ありて基督の下に一身たるの意味もて會頭を初め三四の姉妹の熱心なる祈禱あり二百四十九番の讃美もて閉會す

開會式

午前十時より開會詩篇百四十六篇を會長朗讀され本多姉の祈禱あり次て役員課長支部長點呼を井深姉本部記錄朗讀井深姉終りて會頭は大會執行委員を左の如く撰

定す

執行委員長　本多貞子　小崎千代子

代員證明書調査委員　横倉秀子　平岩しづ子　大町さく子

會計檢查員　林うた子　中澤とり子

應接係　ガントレット常子　矢守つや子　山室ひな子　南波あや子　岸田つる子

會場書記　鵜飼たへ子　千葉ひろ子

新入會員募集委員　邊渡常子　山本琴子

婦人新報購讀者募集委員　大内あさ子　水野菊子

給仕　奥田みゑ子　都筑あさ子

次て會頭は立つて記憶に殘れるまゝをとて矯風會廿年史を語られ互に財政の豐富を計り各々努力して與へられたる責任を全うし以て課の隆盛を計らざるべからずと祈禱を以て閉會す

歡迎會

十日午後二時開會、讃美歌九十五番松崎の祈禱あり原胤照氏慈善團體を代表して世に多く行はれつゝある罪惡の原因は皆家庭道德の不完全なるより來るものなれば之が矯正に盡力するはまづ家庭よりせざるべからずこれにあづかつて最も力あるは此會なれば諸君の益々盛に活動されん事を希望すと

次で石黑男爵軍人を代表して自身の例を以て六十三歲に至る今日まで斯く勤勉をもて世に立ち得るは皆母の敎訓に由らざるなく母たる者の責任の輕からざる事をのべ婦人は進歩の先驅者にして國家の隆盛の大要素たりと

次に婦人團體を代表して山脇房子氏凡て事業は何れも急に成功するものに非ず此の會の如きは殊に範圍の廣きものなれば常に忍耐と奮鬪とを以て盛に進歩されん事を切に國家と社會の爲に祈ると

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

石川安次郎氏新聞記者代表して矯風會に對する希望は日本國中に水を注ぎ鹽をまかれん事にして投機精神に滿ちたる此惡風潮を閉止するは矯風會に待つ所甚だ大なりとて其奮勵を祈らる

東京英和女學校有志の合唱に心を靜め次に矢吹氏救世軍を代表して滿洲に於ける可憐なる婦人の例を引きて我が會の奮起を促し此の會の不必要を認むる時代の一日も早く到達せん事を祈らる

次て基督教青年會を代表してマグドナルド氏は三谷氏の通譯を以て萬國青年會及び女子青年會のパリ市にまた日本に開かれたるを喜び何事も權威力にてはなし得るものに非ず只神の靈によつてなれば凡てを神に求めてせられん事をと終りて安藤太郎氏は禁酒會を代表して立ち、四十五年の博覧會に於て禁酒及び矯風會大會を開くべき希望をのべ樂しみて事をなすの喜びをブース大將の例によつて引きまた熱心なる一車夫を賞賛され、會員一同喜んで其務めを執られん事を勸めらる

最後に田村直臣氏には敎會を代表して當會の範圍の廣きに失する事、一偉人の出て〻會頭の候補たらん事及び凡て秩序よく事務を處理し組織立ちて働かれん事を勸めらる、神戸支部代員渡邊常子姉の答辭あり即ち我國民の幸福と責任とをのべ會員擧つて世の爲盡力すべき事を期しまた多方面なる當會の却つて利益多き點をあげらる

櫛部ゆき子氏の獨吟あり田村敎師の祝禱をもて散會後別席に於て來賓に茶菓を饗す

七月十日夜七時讃美歌祈禱を以て開會す各支部長及び代員の證明書を横倉姉朗讀す

次て横倉姉の本部二年間の活動及び各支部一年間の活動につき委細報告あり本部及び支部の支出入高を小崎氏報告す、然して支部會計の報告は皆大會より數日前に通知ありたき旨注意あり、（可決）

次にガントレット氏より少年課及び青年課の報告（可決）鳥居坂青年部の合唱あり、

機關雜誌記者報告は横倉姉によりてなさる（可決）

少年新報報告は未だ到着せざるを以て何れかの時を得

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てなすを約す規定の時間に餘りありたれば種々の感話を初む、其結果、婦人新報送附につき本社の便宜をはかり各支部は可成的之を一まとめとなして受取るべき手續を採る事を約す渡邊姉の提議にかゝる聖書註解書を皇后陛下に奉呈の義は種々の意見出てたる末遂に七人の委員を撰び熟議の上大會の終るまでにこの件の可否を決定する事となし委員、松山、堀、二ノ宮、林、小崎、渡邊、ガシトレットの諸姉撰る又スユート嬢の結婚の御祝として送るべき物品撰定の件につき前記の七名に依任する事、各支部の報告が何時も不完全なる事又姉々の調査事項に對しての返答の少なき件につき注意ありたり

　神戸鎌原姉金澤支部の兩所より祝電あり

　九時讃美祈禱を以て閉會す

七月十二日午前九時讃美歌祈禱を以て開會書記前日の記錄を朗讀し二三の修正を加へて可決す

横倉姉起つて大會執行順序書の中に十一日午後の前日記錄朗讀及び十二日午後の正午の祈禱は何れも全日午前の部に入る可きものなりと正誤せられたり次に順序に依り各課の報告あり

一教育課　邊渡常子

一動物優待課　全課長　武田淑子

　姉に代りて渡邊常子

一文書課、衛生課、傳道課、禁煙課、

石田課長等は何れも病氣其他の事故により欠席横倉姉代て報告書を朗讀せらる

ガシトレット姉獨唱の後

一日曜學校課、交際課、工女課の各課長等旅行中或は病氣なるを以て横倉姉之に代らる

一安息日課　大内あさ子

一母の會課　代　横倉秀子

一軍人課　代　大内あさ子

一風俗課及無酵課　代　横倉秀子

一花の課　城戸順子

一法律課　横倉秀子

課長渡米中横倉姉代られしを以て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

救濟課　代　横倉秀子

右各課の報告何れも異義なく可決す東洋英和女學校有志の合唱の後議長は來賓小崎弘道氏白井俊一氏を紹介せられ小崎氏は今日諸所に起れる公娼問題に對し矯風會員は深く研究し根本より此制度を覆されん事を希望すと述べられ白井氏は新聞紙上の三面記事の血なまぐさき事件は家庭の不和殊に男女間の風俗紊亂せるに起因すとて矯風會員の反省を促し猶社會に害毒を流す醜業婦所謂ねへさんなるものを終生の希望とするもの多自分は或工女等の爲に微力ながら働き居る次第なるが支部に於ても此の課の多く設けられゝ憐む可き工女等の爲働かれん事を希望すと述べられたり

役員代員紹介の後一同頌歌を唱へ主の祈小崎氏の祝禱を以て閉會す

午後一時半讃美歌前橋代員松宮姉の祈禱を以て開會議長江原素六氏を紹介せらる、仝氏立つて前日不參の理由を述べ樣々なる有益なる例を引きて我等婦人は力强き神の御手にあがり聖き神の使女として働かれん事を殊に婦人は一家の主婦として其子女は云も更なり下女下男に至る迄之を敎訓してその理想を高尙ならしめ矯風のバプテスマを授けられんとまた社界に向つても充分キリストの愛心を以て矯風の主義を實行されん事を切に望んで止まざる處なりと懇切にすゝめられたり

ミリケル孃には十日午後の歡迎會に祝辭を述ぶる樣に依賴しありしも誤つて省きたれば本日一言を乞ふとの議長の言葉に仝孃は敵を能く研究して然る後に戰ふよき軍人の如く矯風會の諸姉は社會の敵をよく研究して後賢く働かるゝならば勝を得るや必せりと祝されたり

規則朗讀の後第廿五條「本會は創立紀念日（十一月日を）十二月に正誤し猶創立の日は第一土曜日が六日なりしも六日としては日曜日に當る事もあれば種々差支も多かる可しとて日は定めずして第一土曜日としては如何との動議起り一同賛成を以て創立紀念日を十二月第一土曜日と記入する事に決議せり

細則に於て部の分類なる「四字は」二號に印刷しあれど

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とは四號の課なる事、次て第一青年部第二少年部とあるは元課の中に入れありしも二つながら種々なる點に於て課と異なる處あれば課より分離して部なる語を附したるなりと横倉姉の說明にガントレット姉起て備考青年部少年部は凡ての場合に於て支部に準ずの項に於て青年部は凡ての場合に於て支部に準ずるを得れど少年部は本部に義務金を納め或は大會に於て投票權を有せざれば到底支部に準ずること能はず由て少年部なる三字を削除するの動議を起し一同之に同意して議決せらる

三年間混雜を極めし矯風會規則も本大會に於て二三の訂正を加へたるのみにて一同承認せられ無事改正を結了したり

花の課長城戸順子姉の花の紀念日は花の課の設けなき支部にても守るべきかもし然らば紀念日の由來及之が紀念日を守る方法等につき各支部へ紹介するは課長の責任なるやとの質問に横倉姉然る旨答へられたり

財務委員小崎千代子姉の報告終りて同姉は書記の俸給每月平均五六圓の不足を生じ過る一年間は本部より補助し來りしも本年度よりは各支部にてよく其義務を盡し之が負擔を全ふせられんことを乞ふと猶事務所の件に就ても設立の日の速かならん事を期して各支部諸姉の熱心なる祈に伴ふ働きを深く望むと語られたり

渡邊姉各支部にては會頭及び役員の變更さるゝ場合もあれば大會の度每に大會費額を本部書記より各支部へ通知ありたき旨要求ありたり次に來るべき時事問題報告は事情ありて翌日に延期す

代員證明書調査委員報告終りて役員の改撰に移る堀渡邊の兩姉投票係りに指名せらる

會頭　矢島楫子
副會頭　本多貞子
通信書記　横倉秀子
記錄書記　井深花子
會計　小崎千代子

右五姉何れも大多數を以て再撰せらる渡邊姉の動議にて一同起立して再撰せられたる五姉に謝意を表す、小

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

崎、林、中澤、矢島の四姉の熱心なる祈禱ありスマート孃結婚の祝ひとして送るべき品も委員の手にて備へられたりとて菊花に小鳥の美くしき掛圖を示され其代價十七圓箱代郵稅にて廿餘圓を要すべければ各支部と交涉して寄附金を集むる事は多くの手數と日數とを要すべければ代員諸姉に乞ふて各自一圓靑年部にて五十錢の割を以て出金せられん事を乞ふと小崎姉より報告ありたり讃美歌二百七十七番を歌ひ主の祈を以て閉會す

附カントレット姉規則の事につきて初めスマート孃より翻譯を托せられしを以て規則改正には大なる責任ある身なりしも種々なる障の爲め過去二年間大會に出席する能はず爲に此件につき諸姉の誤解と大なる混亂を來せしことなれば聊か辯明するの必要ありとて翻譯の際便宜上字句の順序等を變更したるも意義に於ては少しの相違も無き事と語られたり、

十一日午後七時談話會を三百七十四番の讃美本多姉の祈禱もて開會、林うた子姉渡米談を愉快にまた熱心に語られついて博愛舍及び大坂支部の現狀に至り時の移るも忘れて會の爲に盡力されん事を希望さる

次に前橋支部堀氏は近時の問題なる公娼設置事件につき詳かに二十五年前に立ちかへり其原因より解かれ再び斯る事件の起らん時は一縣一市に止まらずして全支部協力運動せられん事を乞はる

終て串田老人にはエレミヤ書三章を引照して希望をのべられ松山姉には花の日の起原また其働き又病者、看護婦等に及ぼせる好成績をあげられ常に心して近きものより傳道せん事を勸めらる

終に二宮姉、母の課につきて監獄訪問の狀況を示し母の責任の重且大なる事を述べられたり時間も進みければ殘をしけれど讃美祈禱をもて會を閉づ（未完）

大坂支部　五月廿八日午後二時より例年の地久節祝賀式及び婦人ホーム發會式を中之嶋六丁目六番地に開く司會清水たね子讃美、聖書朗讀、祈禱馬場夫人、會頭の祝辭並にホームの由來につきての談話、市長代理學務課長宮崎氏の祝辭、長田牧師の國母聖誕につき祝辭演說あり一同君が代を唱ひ一先づ閉會再び林會頭よりホームの將來につき會員一同へ協議ありて後門前

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に於て紀念のため撮影す當日集會者百三十名なりき

市長祝辭

纎弱なる女子にして志を立て身を起さむと都門を慕ひ來るもの日に月に多し其の心懸や善く其の氣や愛すべしと雖も而かも初志を遂げて身潔く心勇みて故郷の父母に見ゆるは至りて稀なりこれ蓋し周圍の誘惑による事多しと雖も抑も亦保護機關の備はらざる爲にもあるべし大阪婦人矯風會こたび婦人ホームなるものを設けかゝる女子の爲に身を寄すべき家庭を紹介し併せて其前途を保護せむとす設備既に成りて玆に發會の式を擧ぐ其事業が須要にして其の趣旨の善美なるは殊更に言はずもあれかくの如くにして始めて世の父母は安んじて其女子を都に出て立たせ又かくの如くにして始めて世の女子は安んじて父母の膝下を辭するを得るなり而してこれ單り其の父母其女子の幸福なるのみならずひろく世の女子のために祝ひ喜ぶべき設けといふべし今日此式に際し特にかく言ふ所以のもの誠に此事業が時弊を救ふに足り且つ都市の面目を進むる美擧なるを信ずるの深ければなりこれを祝辭とす

明治四十年五月廿八日

大阪市長　山下重威

追白　曩にホーム主任監督として久しく傳道に從事せられし林依子姉を推薦せしに同姉は本年六十六才なるも尚殘る生涯を此事業の爲め獻身せんとて來らる尚奥田ふみ子小山みつ子共にホームの働き人として獻身的從事せらる雇人被雇人共に依賴多く今日迄に既に十二名の紹介を終りたり東警察より依賴されし工女も其後無事に良き家庭に奉公せり

尚矯風會員の凡てが此事業のため熱心同情を以て助けらるゝ事は主の榮光と感謝の至に御座候

花の課紀念日

六月九日（安息日）午後二時より北敎會に於て開會せらる當日は會堂内美はしく花を以て飾られ課長吉岡夫人の司會にて詩篇朗讀祈禱の後伊東夫人花の紀念日起因につき説明書朗讀せらる

ミスジエチカセチー略歴（轉載）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

カセデー孃は米國人にして若き時馬車から落ち大怪俄をした結果一生起つ事の出來ぬ病人となりて以來卅年間苦痛の病床に起臥さへ自由ならぬ氣の毒な生涯を送つて居られます方で御座います此婦人が自分の辛き經驗から自分と同じ淋しき境遇に居る人々を慰め度いといふ熱き同情の念から思ひ付いて自分を毎日見舞つてくれる友人に頼んで來る毎に花を持て來て貰ひ之を小さき束に造り小さき札に神の愛の約束や慰め言を記して結び付け近隣の病人や病院等に贈りて非常に好い働きをしていらしやつたので御座います、同孃に此働きに就き聞かれし萬國婦人矯風會々頭フランセス、ウヰラード孃は直に花の課と云ふ名稱の許に此事業を本部の一部として加へられまたミスカゼデーは最初の本部課長となられたので御座います

次に讃美歌二百九十二を唱ひ清水姉、林會頭の所感ありて後祈禱を以て閉會せらる

當日は淋しき集りにて準備充分ならざりし爲め少數なりしは誠に殘念なりき

飾花は早速目下入院中の會員へ配布せられたり

堺婦人矯風會發會式

六月廿一日午後二時堺テモテ教會に於て矯風會發會式を擧行せられ當地林會頭、清水書記ホーム主任林姉等招待に應じ出席す

從來三名の會員大阪に付屬せられしが此度黒田柳原両姉等の尤も熱心に働かれし結果遂に六十二人の加入者を以て同地に呱々の聲を擧げられしはいども〳〵目出度事にて實に盛なる集りなりき適々萬國矯風會々員ブロード孃の來阪に接し林會頭と共に親しく此席に臨まれ喜こびて會の祝辭と將來の發達を祈り求められたりブロード孃は歸路奈良へ趣かるゝ筈なりしが時刻遲れたるため湊町停車場より俄に變じて清水氏宅に伴ひ歸り林姉と共に樂しき一夜を過したり

會報

轉居　小島藤子　西區九條町二丁目百六十九へ

轉居　杉田いそ子　東區玉造森の宮へ

母の會報告　七月六日土曜午後二時より中之島ホーム

に於て母の會を開く司會杉田夫人讃美、聖書、祈禱の後加古病院長、豫て依頼せし如く夏期衛生上小兒胃腸に關する談話を懇切に語られ大に利益を得て一同喜びに滿ち四時閉會す

本日の出席者七十名なりしが會員外の令夫人たち多く集はれたるは幸なりき

・入會者

倉橋　ます　山口　とめ　樋口　枚子　安川　篤子　吉津　よれ
比田井よれ　武藤　いそ　永松　操　井崎　ふみ　吉村　ひて
宮崎　優　蒲内　きさ　佐々木やす　佐々木誠一郎吉村　ふじ
松木　榮　西村　あい　村田　耕　片山　なか　黒田　さと
岡田　花　江口　多賀　大西　きく　藤原　その　南里　はる
竹友　梅代　日々野さよ　松井　よし　佐島　うめ　吉良　義濟
岡野　信　大塚　はる　正體きしの　齋藤　すま　小山　みつ
荒木　和一　宮崎　ぬい　阪本　しも　藤本　ゑい　繁原　操
淺尾　みよ」以上卅六人五月分新入會員　大會本部へ通知濟の分也
樋口　まき　江坂　安代　木村　すへ　大塚　香苗　齋藤　さく
川村　あさ　鈴木　和歌　菱川　いく　〆八人

以上六月十五日以後の入會員なり

母の會の前夜北警察より三十二歳なる一婦人を伴ひホームへ依頼されたり此婦人は伊豫今治のものにて三年前京都機織職に雇はれ居りしが脚氣にて職務にたへず大阪市安町の口入やより奉公に行き居りしも病氣の爲め解雇せられ身に一物もなく困難を極めし故北警察より國許へ掛合せしが原より兩親親類もなく一人の弟あれど家困難にて一錢の金も姉の爲送る事能はずとの事なり警察にても今一層重き病人なれば慈惠院にも入るゝ事出來得れど未だ少し自由出來るものとて能はず遂にホームへ依頼されたりと云ふホームに於ても目下病氣のものを奉公に出す事出來ず其儘に置と追々暑中の事故いと案じられたるをもて此事を集會の席上にて語り幾分の金を集め旅費として國許へ送らむものと決し同日席上に於て此旨報告いたしたる處皆樣の同情により金四圓六十錢程集り早速其儘此者へ遣し其日は暮れ翌安息日を休ませ月曜にいろ〳〵商船會社へも交渉して醫藥を與へ波止場迄見送りしたりと云ふ實に不幸なる幸福者とは此人の事に御座候當人は涙ながらに喜び全快を待て再び上阪して再會する事を約束せり神の惠光大なる哉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

旭川遊廓問題に對する報告　明治卅七年七月旭川遊廓問題起る、町民苟も廉耻を知るもの蹶然立ちて一部の私利を營み風教を省みざる輩に反して該問題の不成立を期し一團となりて運動に從事したり。昨卅九年に至り事次第に大に有志間の暗闘日に甚だしきを加へたり、我矯風會は該問題の家庭に及ぼす影響の大なると共に其成不成は社會に與ふる感化の善惡の差絶大なるを見座視其成行を待つべからずとなし六月時の道廳長官園田氏に向ひ會員連署して該問題の不認可を請願したり、然るに該問題の聲漸次小となり何時とはなしに遂に消滅せしもの丶如く有志皆安堵の思をなし我會員亦互に慶賀し天國を夢みて平和を歌ひ居たり安ぞ知らん此の假裝的平和の間に惡魔の働きの絶大にして旺盛を極め遂に群鯢の大鯨を食ひ盡さんとは。彼の貪慾飽くを知らず目には私利あり胸には唯私欲ある不德の輩は暗に政治的運動を經續して所謂政治家を買收し官民を欺き札幌に通ふ事四十餘回上京して內務大臣に詭辯を弄すること數回遂に明治四十年三月廿八日道廳告示第百六十一號に新任長官河島氏をして永山村に遊廓新設の許可を公表せしむるに至れり、嗚呼惡魔の行動何ぞ巧みなる正義の志何ぞ其れ遂ぐるに難きや此の許可紙上に顯はるゝや旭川町民正義の士の驚愕甚だしく俄に立ちて善後策を講ぜんとするあり、長官の暴横を鳴すあり、町村自治の權を無視したるものなりと罵るあり、同志の會合、有志の集會日を同うして開かるるもの數次遂に町民大會を開き決議する處あり以て長官に訴へ許可の撤回を請はんとせり我矯風會は直ちに臨時會を開き大能の導を祈ると共に執るべき方針を討議し先づ第一に前年の例に倣ひ四月十日會員連署して長官に請願し子弟の教育と風教維持の爲め大に省る所あらしめんとせしも頑迷なる官人は惡魔の使役に甘じ正義の聲は其頂點に達せしと雖も猶閑却せられ一顧にだも價せざりき然れども我矯風會の意氣は衝天の勢あり正美の向ふ所神の導あるを信じつゝ更に大集會を開き善後策を討究し坂本杉浦高柳の三夫人を擧げて代表者となし四月十九日出

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

札して長官の面前に我々の呼を呼ばしめんとせり（此時流言あり當町會議員の中に永山に遊廓を設置するを好まざる者極力運動して永山の設定を廢し町内一條より四條迄各一丁目に設けんと議決せりと、風紀に及ぼす弊害益々甚だしからんを恐れ矯風會員は議員を訪問し陳述する所あり、議幸にして息めり）時に長官出府、不在なりしを以て本意を遂ぐる事を得ず爲に代表者は第一部長高岡直吉氏を訪ひ縷々數萬言具に意のある所を訴へたり高岡氏亦正を知り義を辨へたる紳士にして多大の同情を寄せ慰籍の言を費やさる、然れども我々の意聽かれたるに非ず即ち又更に爲す所あらんと欲し後日を期して歸旭したり。超えて五月長官歸札せしと聞き十五日飛檄して會員を集め互に天父に訴ふる事數時神の導きにより又々坂本杉浦の二夫人は本會を代表し長官を訪問すべく十七日出札し直ちに長官の邸に至り取次を依頼せしも病氣の故を以て面會を謝絶せらる翌十八日朝再び訪ひしに其用事を言へと嚴達せらる輙ち謹て遊廓問題につき貴意を得たく虎威を敢て冒したりと答へしに然らば面會を謝絶すと申し渡されたり二夫人の失望言語の外なりしも猶勇氣を鼓し事務員に就き取なしを願ひしも唯事務員の嘲笑を買ひしに過ぎざりき。

此日二夫人は廣瀬西村の兩事務官を訪ひ良法を聞かんとせしに彼一言に答へて曰く許可を與へたる上は幾度願ふも術なし面會を請ふも亦益なからんかと、されども二夫人の精神祈禱の熱烈は金鐵も亦た流動せんとせり、此夜更に長官を訪ひしも又々謝絶せらる浩嘆して神に祈る他に方法なきを以てなり。

然れども二夫人は意已に決する所あり、一度長官に會ふを得ば足れりとし十九日朝名を高等女學校問題に籍りて長官に面會を請ふ此度は漸々承諾せられ事務員の冷眼に送られて應接室に入る待つ事多時戸を排して出で來れる大漢あり大聲人を壓し眼光鋭く銀針口を圍み怒聲を上げ叱して曰く婦人の政治問題に奔走するは奇怪なりと二夫人戰々たり然れども勇を呼び辯明問答旭川高等女學校に就きて論述する處ありしが長官

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の議論會々遊廓問題に向ひしかば二夫人大に喜び滿腔の勇を奮ひ力を致して我會の素志を辯ずる事時餘長官の顏色漸く和ぎ溫言二夫人に對し矯風會の主義を讃し多大の賞褒の辭を送るに至れり事此に至り我會の主義と代表者の熱誠は長官を動かすに足るか否や輙く論斷する不能と雖も長官をして我會に對する誤解を解かしめたるは二夫人の功として感謝すべきものとす。

遊廓の問題未だ落着したるに非ず却て紛々說を作り論評益々熾なり我等暫く心を潛め思を同ふし天父の妙惠攝理長官以下に加はり引いては全道の上に大能の導あらん事を祈り更に此後の執るべき方針を決議し着々其實行に就かん事を期せり。

因に長官は我が代表者を町民一部の手先なる如く誤解したるが如し然れども杉浦坂本二牧師夫人の辯明はよく此の誤解を氷解せしめたり

明治四十年六月廿日

旭川基督敎婦人矯風會書記田中照子

○平婦人矯風會　六月廿九日(土曜日)の夜七時半より、今回磐城平町に組織せられたる磐城婦人矯風會は、會頭矢島楫子女史を聘し、同町田町日本基督敎々會堂内に於て、其發會式を行ひ、兼ねて同地目下の問題たる公娼に關聯する婦人矯風演說會を開催したり。會員の熱心なる斡旋奔走によりて、招待狀は町内の重立てる婦人に向かつて發せられ、萬般の準備洩れなかりしかば、會衆甚多く、無慮四百人に及び、遂に庭上にベンチを据えて、會場内に溢れたる聽衆を收容するの止むなきに至れり。

會は、日本基督敎平敎會牧師吉田氏夫人の司會の下に開催せられ、讃美歌祈禱の後、北鄕保守氏、先立つて、今回同地に惹起せる遊廓問題に就て婦人の覺悟を請ひ、亞て浸禮敎會平敎會牧師淺原慈朗氏は、佛儒の對婦人觀より入りて、基督の對婦人觀に論及す、共に婦人矯風會の設立を祝して壇を下れり。

最後に矢島楫子女史は徐に身を起し、先自己が幼時に於ける社會の風習、敎育の方法、又自己の基敎徒と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なりし動機等より進すで我國婦人矯風會の成立變遷、目下の狀況に及び、更に再轉して米國婦人矯風會が社會に爲しつゝある偉大なる事業感化に及び、我國矯風會の使命に想到し、慈母、愛子に對するが如き態度を以て縷々、演說せられ聽衆に甚大なる感興を與へられたり。

女史の演說終るや、會衆は皆起立し君が代を再唱して散會せり。

○同卅日(日曜日)午後三時より一般公衆のため、劇場聚樂館に於て、浸禮敎會々員の司會の下に再び婦人矯風演說會を開けり。會衆約二百人、吉田牧師先公娼の非人道、非道德なることを絕叫し淺原牧師は百事官廳の爲すが儘に放任して傍觀すべからずと論じて、町民の反省を促し、同敎會牧師にして東京より應援のため來られたる渡部元氏は、歐米の例を引き、公娼の集會に及ぼす慘毒を詳かにし、辯論縱橫、醜類の膽を寒からしめたり。

矢島楫子女史、老躰にも係らず又演壇に顯はれ婦人矯風會に就ての題下に其事業、目的等を一般公衆の爲めに、最も通俗平易に說明せられ、町民の愛國心に愬へて、遊廓設立を防止すべきことを述べられたり。

斯くて前後の二回とも、嚮きに島田先生、半山先生等を聘して開催せる矯風演說會と相俟ちて、著しき感化を町民の腦裏に深く留むることを得て、盛會の下に會を閉づることを得たり。

○盛岡支部　七月四日第一木曜日午後二時半より下ノ橋日本キリスト敎會牧師館に於て例會を開く、會長佐藤たつ子司會祈禱及び讃美の後ち副會長坂本さだ子聖書以弗所五章の朗讀あり此日當敎會瀨上牧師のキリスト敎の婦人に對する態度と言へる題にて有益なる談話あり次に讃美歌及び祈禱を以て午後四時閉會す

○廣島婦人矯風會報告　五月二十四日廣島市廣島女學校に於て萬國社會改良會事務局長クラフツ博士夫人を聘し特に婦人のため矯風演說會を開く、菱沼小夏姉の司會にて午後三時開會祈禱、聖書朗讀、讃美歌の後クラフツ夫人は坂野儉氏の通譯にて萬國婦人矯風會の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

目的並に事業等につき演說せられ來會者五百餘名に感動を與へたり演說終りて來會者一同へ本會規則の印刷物を配布し午後五時散會せり其後入會申込者十數名ありたり

○弘前支部　五月廿八日午前十時より元寺町敎會堂に於て矯風會母の會連合にて地久節祝賀會を開く會頭高谷とく子姉司會の下に左の順序にて執行せり

君が代三唱	集會者一同
開會の辨	高谷とく子
聖書朗讀	助川あい子
祈禱	高谷とく子
合唱	幼稚園女敎師數名
祝詞	竹内千代子
祝詞	高杉つる子
合唱	幼稚園女敎師數名
祝辭	黑瀧なか子

右終りて後讃美歌を以て閉會し夫より一同打揃ひ舊城に於て親睦會を開き食事の後幼稚園生徒の無邪氣なる遊戲種々ありし後會員も亦組々を分ち芋拾ひ、編物競爭、お給仕、豆拾ひ、其他數種の遊びをなし平素家に在りて家庭の事に齷齪する主婦も孫の世話に煩はしき老人も此日ばかりは總ての苦勞を忘れ實に言ひ難きの愉快に全く若がへりし心地にて皆時刻の移るをも打忘れ散會せしは既に夕暮近き頃なりき集會者貳百名餘(幼稚園生徒と共に)元來邊鄙なる弘前市の事なればすべて婦人は是まであまり外出せざる風習あり從て智識交換の機會もなかりしに近來大に進步し今回の如きは互ひに喜び勇みて賢明慈愛に富ませ給ふ我國母陛下の御誕辰を祝し奉らんとてかく多數集會せしも全く陛下の御恩澤に依る事と厚く謝恩の情に堪へざる所なり

六月十一日午後一時より白銀町スワルツ夫人宅に於て同夫人の爲に送別會を開く幼稚園女敎師數名の合唱吉澤とく子姉の聖書朗讀母の會長スワルツ夫人訣別の挨拶あり黑瀧なか子姉母の會を代表して是まで同夫人の母の會に盡されし厚意を謝して後送別の辭を述べ夫より會員一同より紀念品を贈呈したるに同夫人のいと丁寧なる謝辭あり同令孃の(ピヤノ)獨奏を以て閉會し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

同夫人の厚意になれる茶菓を喫しつゝおもひ〳〵の快談に時を移し散會せしは午後五時半頃なりき

集會者　四十六名　入會者　拾四名

入會者　野中たか子　小中なり子
石塚もと子　引田りよ子　後藤たつ子
清野きく子　伊藤つぎ子　岩淵たか子
後藤こう子　中村のぶ子　高木きく子
對馬きぬ子　齋藤ひさ子　藤田つね子

六月廿七日午前九時元寺町教會堂に於て島田三郎丹羽清次郎の兩名士來弘につき特に婦人の爲に矯風演説會を開く高谷とく子姉司會にて讃美山鹿牧師の祈禱聖書朗讀再び讃美の後司會者の開會の辭あり山鹿牧師兩名士を紹介し直ちに丹羽清次郎氏の演説に移る其大要左の如し

一 先づ當時輕薄なる青年男女學生間の品行に付て注意を促し次て夫人となつて家庭を造る者の方針即ち其良人に同情を寄せ之を補助して奬勵せしむるは凡て夫人の義務なる事其實例として各異りたる三家庭の模樣を綿密に述べられ凡て良人の事業の成否は重に夫人の同情と補助の如何にある事

終りに凡そ人として此世に處し其義務を果すには須らく主なる(クリスト)の助れを得ざればならぬ事を述べられたり

次に島田氏登壇せられ凡て國民としての權力は獨り男子のみならず半ば女子にも占有する事

日に月に婦人の位置も進歩し二十世紀の今日に至りては教育的社交的の上より視れば一大變革を來せしは一般の認むる所なるも未だ宗教の素養淺く社會の道德心に乏しき爲婦人天賦の權力を制裁せらるゝ有樣にて現に年々矯風會より一夫一婦の案につき請願書を呈出するも議員の多數は之等に對し毫も道德心なく且向上心に乏しき爲か更に婦人の地位を認めず甚しきは委員會に於て之を撤去せんとするの卑劣漢ありて今尚通過せざるは慨嘆に堪へざる所なりと述べられ終りに以上の如き理由なれば一般の國民に今一層宗教の力を以て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

道徳心に富ましめなば從て東洋文明の模範として恥ぢざるに至るべしと熱誠勇辯を以て奬勵せられたり當日は兩名士の耳新らしき裨益ある演説を聞き一同大に感動せり出立の時間切迫の爲め兩士の勞を慰する暇もなく遺憾ながら直ちに矯風會の會員は停車場に見送せり

來會者　貳百五十名餘

○函館支部　五月二十八日午後二時より副會頭岩谷姉宅に於て地久節祝賀會兼親睦會を催す、會頭司會のもとに讃美聖書朗讀祈禱をもて始む有志者の國歌の合唱ありて後三谷會頭の適切なる奬勵ありき次に書記會計の報告をなし一同君が代を唱ふ鳥居姉の祈禱をもて一先づ閉會し茶菓のうちにたのしく打ち語らひ快をつくして散會せしは五時頃なりき此日來會者四十三名

六月十七日午後二時より美以教會に於て會頭司會のもとに例會を開く讃美祈禱の後道愛女學校教師數名の禁酒の英語の歌の合唱あり次てミスプラオンロー聖書の歴代上四章九十節を引照しヤベツの祈よりして我等の學ぶ可きところを教へらる當時ヤベツは神の撰民たる己がイスラエル國の改良を望みて先づ自己が神より祝し惠まれん事を切に祈り神は其祈り求むる所に答へ給ひし事より我等東洋にありて特に撰をうけしわが日本國の家庭及び社會の改良を計らんとて此矯風事業にあたり居る會員等は先づヤベツの如く神よまづ我を祝し我を惠みて聖靈の力にみたし聖め給へと切に祈り求め各々の修養を計る可きなりと熱心なる奬勵をあたへては會員一同新たに己が責任を悟り大に益せられたり會頭の祈禱の後讃美の合唱ありて會計書記報告をなし默禱をもて閉會す此日集者二十四名

○堺婦人矯風會　發會式概要

六月二十一日午後二時より

司會者　吉井あや子

讃美　司會者

聖書朗讀　（ペテロ前書三章一－九）

開會　祈禱	萬代要子
矯風會につきて談話　大阪婦人矯風會々長	林歌子女史
仝　談話　萬國婦人矯風會役員	ブロード孃（林歌子女史通譯）
右兩氏に對し　挨拶	岡村平兵衞氏
讃美	
閉會　祈禱	赤澤よし子
茶菓	
會員募集　會員	六拾壹名
特別會員	四名
役員選擧	
會長	德澤くす子
書記	赤澤よし子
同	角田いく子
會計	柳原ふく子

殊に當日來賓中ブロード孃は滯在日數の僅なるに態々御來會被下しはわが支部の光榮とする處尚林歌子女史の熱誠なる演說は何れも感服の外なく又大阪婦人矯風會婦人ホームの林依子姉は曾て當地に傳道の爲在住中矯風會設立の爲少からず盡力せられし同姉も今日此設立を喜で來會せられたり

○羅府婦人矯風會　今回婦人矯風會內に母の課を新設せられ去る金曜日午後八時より池內たね子宅に於て母の課第一集會を開催せしに出席者八名にして小室牧師には（小兒の價値を知れ）と題し懇々と話されしかば來會者一同に深く感動を與へられたり後茶菓を喫し散會せしは午後十時半頃なりと

尚同課には每月一回づゝ集會を催し知名の諸士を招聘して講演を依賴し會員外の諸姉妹にても歡迎する事に決す

羅府婦人矯風會例會　既報の如く去る六月二日午後三時より協議會事務所に於て開く堀見會長司會の下に讃美祈禱聖書回讀を了り次て感話に入る第一堀見夫人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は信仰に就て有神説を唱導し神を信仰するは迷信にあらずと結び第二小室夫人は强固なる會に就てと題し一致協力せざるべからずと戒め第三池内夫人は金の權力に就てと題し財寶は有形の寶なれども人間は無形の寶即ち精神の修養に勤むるを要すと述べ終りて仁田孃の會計報告ありて散會せしは五時半なりき

大會接待費決算

収入

金百廿圓十五錢

支出

金八十七圓五十二錢

殘金三十二圓六十三錢

支出内譯

一金四拾參圓七拾九錢　食費（三日間）
一金八圓四拾八錢　雜費
一金貳圓拾錢　菓子代
一金參圓參拾錢　親睦會費用
一金壹圓貳拾錢　夜具損料
一金壹圓六拾五錢　人力代
一金貳圓　青山女學院謝禮（蚊帳借）
一金六圓　辯士音樂者（謝禮）
一金拾九圓　女子學院職員生徒并に女中小使へ心付

合計　八拾七圓五拾貳錢

右之通りに候也

本部大會接待費寄附姓名

芝支部之部

一金貳圓也　井深花子
一金貳圓也　戸板せき子
一金貳圓也　渡邊辰子
一金貳圓也　吉村蜂子
一金貳圓也　南波常子
一金貳圓也　矢島民子
一金五拾錢也　井深とよ子
一金貳圓也　野田とみ子
一金壹圓也　野田榮子
一金壹圓也　高桑わか子
一金壹圓也　今井りう子
一金壹圓也　小笹ろく子
一金壹圓也　井上ふき子
一金壹圓也　ルウエキス氏
一金壹圓也　トパー氏
一金貳圓也　ポールス夫人

一金壹圓也　諏訪れい子
一金五拾錢也　田中しげ子
一金　武安はる子
一金五拾錢也　山本まり子
一金五拾錢也　荒井桐月
一金参拾錢也　奥平とし子
一金五拾錢也　淺井ふさ子
一金　吉村孝子
一金五拾錢也　原口ふさ子
一金参拾錢也　飯久保ふゆ子
一金五拾錢也　岩瀬孝子
一金五拾錢也　岡田仲子
一金五拾錢也　井深八代子
一金参拾錢也　白井すめ子
一金壹圓也　牧野孝子
一金　大村八代子
一金五拾錢也　麹町區紀尾井町三番地　岡野とよ子
一金貳拾錢也　秋葉清子
一金貳拾錢也　小林しん子
一金貳拾錢也　川上かれ子
一金壹圓也　藤野元子
一金五拾錢也　佐伯貞子
一金貳拾錢也　磯村春子
一金五拾錢也　大庭花子
一金参拾錢也　鈴木ちか子

一金参拾錢也　吉成操子
一金五拾錢也　神谷隆子
一金不在　神田佐久間町二ノ四　谷島千代子
一金五拾錢也　飯島可年子
一金壹圓也　田尻久米子
一金壹圓也　大倉美知子
一金八拾錢也　加藤きく子
一金壹圓也　武田なほ子
一金参拾錢也　大久保百人町二三七　石井さき子
一金壹圓也　石川夫人
一金貳拾錢也　加藤りせ子
一金五拾錢也　矢島しげ子
一金貳圓也　根本とく子
一金貳拾錢也　木原けい子
一金貳拾錢也　山崎みき子
一金参拾錢也　名澤

合金四拾貳圓五拾錢也内
井深扱　六圓参拾錢
戸板扱　拾壹圓
根本扱　貳拾五圓貳拾錢

内金貳圓五拾五錢　大會費として五十一人分小崎千代子へ渡す

殘金参拾九圓九拾五錢
外に金八拾錢也　岡野姉　石川姉の分加ゐ
同　金貳拾錢也　武安花子
〆金四拾圓〇九拾五錢

一金壹圓也　鵜飼様

一金五拾錢也　林　様
一金　小西　様
一金五拾錢也　服部　様
一金貳拾錢也　宮本　様
一金五拾錢也　太田　様
一金五拾錢也　砂田　様
一金五拾錢也　小野　様
一金五拾錢也　高橋　様
一金　井口　様
一金五拾錢也　木田　様
一金五拾錢也　立田　様
一金五拾錢也　小宮　様
一金五拾錢也　福永　様
一金五拾錢也　岡田　様
一金貳拾錢也　津田　様
一金壹圓也　和田御夫人
一金五拾錢也　川崎　様
一金貳拾錢也　松本　様
一金五拾錢也　荒木　様
一金貳圓也　惠藤かれ
一金壹圓也　中村みほ
一金壹圓也　庄司　様
一金參拾錢也　普連土女學校内　豊村　様
〆金拾參圓四拾錢也

婦風會大會寄附金入名

小石川區
一金貳拾錢也　海老名みな子
一金五拾錢也　大熊けい子
一金壹圓也　島貫しか子
一金貳拾錢也　内ケ崎喜代子
一金貳拾錢也　石川ます子
一金貳拾錢也　杉田さく子

本郷區
一金壹圓也　横倉秀子
一金壹圓也　杉本りせ子
一金貳拾錢也　元良米子
一金貳拾錢也　金森名茂子
一金拾錢也　渡邊豊耀子
一金貳拾錢也　大澤とよ子
一金貳拾錢也　野村はま子

神田區
一金壹圓也　角倉さく子
一金拾錢也　藤島のぶ子

麻布區
一金五拾錢也　寺村正千代子
一金參拾錢也　寺尾愛子
一金參拾錢也　南部くま子
一金參拾錢也　加茂令子
一金貳拾錢也　今諏訪せい子
一金參拾錢也　西澤ゆき子
一金貳拾錢也　三井米子
一金參拾錢也　阿部しげ子
一金拾錢也　幸田きみ子
一金壹圓也　小林登代子
他に
一金六圓也　麻布鳥居坂　青年婦風會
合計　金拾五圓八拾錢也

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●小兒洋服裁縫研究者募集●

近年小兒の洋服が流行するに就きまして所々より模形だの仕立などに就て御照會を受ける事あり尚仕立圖や説明を御望みなさる方々も少くありませんから此度及ばずながら通信教授を始めました

左の規定により御有志の方の御申込みを願ひます

一ヶ年にて男女小兒洋服一ト通りを修了する事が出來ます

一ヶ月に三種づゝ教授します

一束修五拾錢

一ヶ月の授業料及び仕立圖説明書型の發送郵税共五拾錢、半年分二圓五拾錢、一年分四圓五拾錢

圖及び説明等に不審の點あれば御質問に應じ答辯致します

ミシンの御持合せなき方でも手縫で自由に出來る樣説明してありますから實用に差支ません

學校婦人會其他にても一ヶ所に十人以上研究者ある場合には特別に實物を仕立發送致します

東京市赤坂區田町七丁目三番地 蔦岡内

岩井薫子

生徒募集

●文明の婦女子は和洋裁縫の道を心得ざるべからず

複雜なる衣服流行の時勢に於て進歩したる和洋裁縫の道を知らんと欲せば速に本塾に入學せられよ

本塾は府下唯一の完全なる裁縫專門塾にして定庭に適切なる和洋の裁縫を懇切に教授す

本塾の教師は何れも斯道に堪能なるが故に其教授法極めて完全なり

本塾にて裁縫を修得すれば家庭の樂となり實用となり經濟となり其利益甚大なり

本塾には練習用として最新式ミシン各種多數に備付あり

本塾には練習の餘暇なき夫人令孃の爲に別科の設あり毎日時間なき方は毎週一度丈にても本塾にて裁縫を學ばば一年を出ずして著く進歩す

詳細は規則に就て承知せられたし

●ミシン購買を望まるゝ方は速に本塾へ申込まるべし

横濱シンガー裁縫機械會社にてはミシン家庭使用奬勵の爲め本塾取扱の注文に限り特別に多大の割引を以て家庭用各種ミシンを販賣すべきことを特約せられたれば希望者は御來塾御問合に相成るべし本塾に定價表あれば御申越次第特別割引價格を附し送呈す大森、品川及東京市内は運賃無料

東京府荏原郡入新井村入景閣横裏（大森停車場ヨリ約三丁）玉塚別莊門際

シンガーミシン家庭裁縫女塾

塾長 潮田ちか子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

美山夫人
田中榮

兩女史共譯七日間

金三十五錢　郵税金四錢

道に迷ふた人の子がたうといカによつて救はるゝ世にも美しい物がたりを優しい筆に寫し出したるこの本は今の家庭の讀みものとして極めて適當なる者ではありますまいか迷ふ人も救はれた人も是非一度は御讀みなさいませそして此の小い一冊の中に深い教へと盡きぬ慰めとを御見出しなさるならば譯者二人は苦心の空しからぬを喜ふて御座いませう

根本正君譯
片岡健吉君序

日々の力

紙數三百六十五頁

定價金三十五錢クロース製金五十錢郵税金六錢

本書は一月一日より十二月三十一日に至る一ケ年三百六十五日に於ける居家處世の大本を示したるものにして毎朝其當日の部を一頁宛讀むべきものとす世人之を繙きて反覆誦讀せんか新氣力新生命は自ら其間に生じ來りて無限の快を得べし故に聖書と同じく一般家庭に必ず一本を備へられんことを推薦す

日本メソヂスト教會監督　本多庸一先生

說教集

紙質精撰　寫眞入　金六十錢　郵税八錢

是先生獨特の通俗的思想を以て深遠の眞理を極めて平易懇切に說話せしもの今日まてありふれたる講譯的口吻なく先生が特創の思想を以て日本人情に投合し一言一句餘韻嫋々として讀者をして感興措かざらしむ請ふ一本を座右に置かれん事を

ジョンアルモットー氏述　瀧浦文彌君譯

活ける基督信徒

定價金三十錢　郵税金四錢

政治的モットー氏を知る者は多く而かも靈活の氏を知る者なく氏が十餘年青年會總幹事としての經驗見聞に基きし此書は正しく偉大なる人格の反映なり發露なり之に由り其今日あるに至りし所以を曉る時人は少からぬ感化を認めざるを得ざるべし敢て諸君の購讀を乞ふ

バウン博士著
小山正武氏譯

基督教天啓論

一名聖書研究の要領

貳拾五錢　郵税四錢

今や世界生存競爭の洪潮大浪は益々激漲して地球を震撼しつゝあるにあらずや此試煉に逢ふて屈せず撓まず奮闘猛進向上し以て善く其靈的習脱を完ふし以て善く其心靈の平和を永續し得べきの途は他にあらず唯敬虔を以て聖書を活讀し之を實行するにあるのみバウン博士の此著極めて簡明聖書研究の第一義を示せる者實に今日初心信徒の爲めに不可缺的釣と爲り燈臺となるべき者は實に此書なり

再版

略註新約全書

定價

紙表紙　金參十錢　總クロース金四十五錢
クロース表紙　金參十五錢　背皮金六十錢
總皮金緣　金壹圓
折皮同　金壹圓二十錢　郵税（一冊）金八錢

アスターライブラリー

新荷數百種着　定價九十錢郵税八錢

テニソン、ウオルッウオルス、ツルゲニーフ、カーライル、エリオットエマルリン、アーピング、キンクスレー、テスキン

諸大家の名著澤山有之候間品切にならさる内至急御注文被下度候

東京京橋區銀座四丁目壹番地　内外書肆　教文館

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ショーヂ、パーカー、ステープンス博士著
關西學院教授松本益吉先生著

耶蘇の教

定價上製七十錢
並製五十錢
郵税各八錢

譯者曰く日本の心靈界は動き始めぬ今やイエスの膝下に座して彼の教を乞はんと欲するものその數少しとせず豈痩せざるべけんやされど我教會はかゝる飢ゑたる心靈に向つて果して如何なる食物を予へつゝあるか彼等パンを求む我等石を供せざりしか彼等魚を乞ふ我等蛇を供せざりしか世人の知らむと欲する所はパウロの教にあらずヨハ子の說にあらず只イエスの教のみ余が文の道に於て未だ踏み習はぬ身を以て倘恩師故スチーブン博士の唯認を得その著イエスの教を抄譯したる所以の者蓋し如上の感然らしむるものあればなり云々

新生涯

定價三十五錢
郵税四錢

々是れ著者が涙の痕也苦戰の歷史なり婉麗なる詩的文字と深遠なる靈的實驗よりして新生涯の如何に樂く尊きかを說明議論あり詠懷あり時に痛論縱橫し時に故山の風色を懷ふに泣き神を求め基督を趁ふて苦悶苦鬪の末遂に希望の曙光を仰ぎ新生涯の山河歷々たる光景を眺めて歡喜せる狀宛然一個のパノラマに似たり
今や煩悶の時代は去つて人皆確信を求め新生涯を熱望せる時此好景を見る蓋し時勢に適せるものか新生涯を慕ふ人々は請ふ一讀の榮を賜らんことを

藤岡潔作篇

山田先生 說教集

定價四十五錢
郵税四錢

本書は山田寅之助先生の說教を蒐めたるものにて目次は
●春の教●自然の教●神の啓示●獄中の宗教●石の枕●ヤコブの臨終●火のバプテスマ●箱舟に於けるモーセ●紀念すべき善行●母としての神●棺に臥したる耶蘇●耶蘇と嬰兒●基督の品格●理想の人●耶蘇の死●秋のインスピレーション

發兌 東京市京橋區尾張町二丁目 警醒社書店 振替貯金五五三番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百廿三號
(毎月一回發行)明治四十年七月廿五日發行
明治三十二年七月廿四日第三種郵便物認可

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA